

廿五日川崎造船所株主総會開催、出席者各重役及  
株主等約百三十名、重役ヨリ今期、島業業狀能ハラ報  
告、レ利益分配安永ト端々計則ニ就キ説明ヲナシ其議  
ナリ可決(此、同約五十分ニテ議了シタリ)

然ルニ大阪、株主皆口占也ハ増資ニ依リ各株主ニ付シ  
旧株一株ニ付新株一株ヲ更クルハ結構ナルモ此際從業  
員ニ付、レテモ因心惠的待遇ヲナスハ日取モ取引事ナリト  
信入故ニ會社ヘ一千八円位ヲ支出サレタシト提議セん  
趣ナルカ各重役ハ物貢ノ多額ヲ以テ待遇ニ充ツルハ  
考フ屬ハラ要アス待遇方法ト金額トハ重役ニ一任サシテ  
シトノ希望ニ依リ本問題ヘ重役一任トナリタル由  
而シテ一方職工側ハ電氣工場稍動搖、情勢ヲ示シ  
云フ

漸次台大業競介ラ帶ト來リ此狀態ヲ係技師ニ發見セラシタル際  
青柿某ハ「工場ニ於テハ工作部長又ハ社長、命令タルヲ向ハスヌガハ  
之ニ服從スルヲ得ス吾等ハ欲スル所ニ依リ進マントスルノミト願シ不  
穧ニ言ヲ以テ迎ヘタニ事實アリ一般職工ハ木順ノ念慮ヲ離シテ逐  
次會社側ト挑戦的能力度ニ生テ向メ事一レカシト期待セルモノノ如  
ク且裏ニ青柿ハニニ要求條件ヲ起草シ、電船、造機而工場ニ替成シ  
求ノタれコトアリ然ルニ他工場ヘ時期尚早シ喝ノテ替成セサリシト  
云フ

以上、事実ヲ备取シタル告白所ハナラ緩和策トシテ廿七日午前今日午  
后四時ヨリ各職工ニ付シ今期當々シ交附スル旨發表ダリ

(六月廿七日)

神戸労働組合聯合團主催ニ係ル平四圓神戸労働者大會及